

2006年5月22日
石油化学工業協会

ニュースリリース

実用拡大期に入ったCEDI

— 化学各社および他業界におけるEDI取組事例 —

石油化学工業協会（JPCA）CEDI小委員会は、経済産業省の後援、日本化学工業協会（JCIA）、化学技術戦略推進機構（JCII）の協賛を得て来る5月30日、JAホール（東京・大手町JAビル）にて第7回CEDIフォーラムを開催する。

化学品取引向けのグローバルな次世代XML/EDI標準Chem eStandards[®]およびその国内向け利用指針の普及をめざし開催するもので、現在進めているChem eStandards[®]実装の流れを一層推進拡大するため、会員会社および他業界のEDIへの取組事例を紹介し、化学業界あるいは関連業界にChem eStandards[®]による電子商取引の導入を呼びかける。

また、同フォーラムには米国CIDX[™]（Chemical Industry Data Exchange）のケン・ハチソン氏（Mr. Ken Hutcheson, CIDX Standards Director）が来日し、CIDX[™]の活動の現況報告を行うと共に、日米欧の化学業界が単一の電子商取引標準を協調して普及推進することの意義を説明する。

【Chem eStandards[®]とは】

グローバルな標準化団体であるCIDX[™]が推進しているグローバルなEDI標準。

化学品の受発注、物流・決済・需要予測等の商取引において企業間で行われている電子データ交換のため、次世代の電子商取引言語として世界的に採用されているXMLに基づいて開発されたもの。

この標準は、化学業界における電子商取引の現実的かつ安定的なツールとして、取引コストの低減、スピードアップを促進すると同時に、化学産業の上流産業および下流顧客業界とのEDIによる連携を目指している。

2000年秋に第1版を発表以来、BASF、Dow Chemical、DuPontなど主要化学メーカーをはじめ、欧米の化学業界各社に広く実用されている。

【CIDX[™]とは】

CIDX[™]（Chemical Industry Data Exchange）は、化学会社と、その取引

先との間の電子商取引およびネットワークセキュリティの改善を目的とするグローバルな化学業界の標準化団体で、米国に本部を置いている。

化学品メーカー、サプライヤー、マーケットプレースおよび産業コンサルタントなど、化学業界の世界的リーダー企業がメンバーとなって、信頼性の高いインターネット上の取引を実現する XML/EDI 標準 Chem eStandards®を開発し、普及促進を図っている。

また、ebXML (UN/CEFACT) や EPCglobal などの国際標準化団体とも密接にコンタクトを続けており、将来的にはこれらの B to B 標準との調和を図って行くことを計画している。

より詳しい情報は CIDX のウェブサイト www.CIDX.org で入手できる。

【CEDI 小委員会とは】

CEDI (Chemical EDI Initiative) は欧米の大手化学会社が組織する EDI 標準化推進団体 CIDX が開発したグローバル XML/EDI 標準 Chem eStandards® を日本国内化学業界標準として普及推進するため、2002年7月に石油化学工業協会内に設立され、石化協会員化学会社および IT ベンダ等のパートナー企業の有志を会員として活動している。CIDX と連携して、日本の立場からグローバルな標準の確立と普及を推進すると共に、日本における化学業界と他産業間のサプライチェーン構築の推進を目指しており、Chem eStandards® を国内取引に適用するための利用ガイドや導入ガイドを開発した。

また、Chem eStandards® を化学製品取引全般に広く適用することを目指し、石化協会員以外の化学会社、商社、物流会社、さらには IT ベンダやソリューションベンダ等にも参加を求めるオープンメンバーシップ制をとっている。

なお、より詳しい情報は CEDI ホームページ www.jpca.or.jp/cedi/index.html で入手できる。

【問合せ先】

石油化学工業協会総務部・高田（情報通信委員会事務局）

〒104-0033 東京都中央区新川 1-4-1 住友不動産六甲ビル 8 階

TEL 03-3297-2011

FAX 03-3297-2017

E-mail : takada@jpca.or.jp